

無印良品のホルムアルデヒド対策について

ホルムアルデヒドとは？

ホルムアルデヒドは最近話題になっている、シックハウス症候群の原因物質の一つといわれています。常温で気化する無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建築資材、壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長期間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。こうしたホルムアルデヒドの室内濃度については、厚生労働省は平成12年に次のような指針を示しています。

ホルムアルデヒドの室内濃度指針値(厚生労働省平成12年)
健康上望ましいホルムアルデヒドの室内濃度値
0.08ppm(※1)相当以下
(20~23℃ 30分平均値で100μg/100m³以下)

現在の取り組みについて

①ホルムアルデヒドのできるだけ少ない材料を使用しています。ホルムアルデヒド放射量の少ない合板やMDF素材などの木材を使用するほか、「材料と材料を組み合わせるための接着剤」や「塗料」も可能な限り、ノンホルムアルデヒド、低ホルムアルデヒドのものを積極的に使用します。

②産地からお客様のお手元に届くまでホルムアルデヒド吸着・分解シートを使用します。

狭い空間ではホルムアルデヒドの逃げ場がなく、材料に再吸着してしまうので、出来るだけホルムアルデヒドを吸着・分解するために、木製家具の梱包内にホルムアルデヒド吸着・分解シート(※2)をいれています。これによって、お客様のお手元に届いたときに、ホルムアルデヒドの濃度を低下させています。

ご家庭でできるホルムアルデヒド対策について

①お部屋の換気が効果的です。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに換気を心がけましょう。特に新築の場合は、窓を出来るだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の温度、湿度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放出されます。夏季や梅雨時に、室内を長時間密閉している場合は特に注意してください。換気扇を使用して普段から換気にご配慮ください。また、同じ部屋の中に数ヶ所の窓がある場合には、換気効率向上のため、2ヶ所以上の窓を開けることをおすすめします。

化学物質に過敏な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質は人によって許容量が異なります。長期間ホルムアルデヒドにさらされることで、人体への蓄積量が許容範囲を超えたときにアレルギー症状が発症します。したがって0.08ppm以下のわずかな濃度であっても、反応する体質の方もいらっしゃるかもしれません。現段階の無印良品の家具におきましても、すべてホルムアルデヒドが放散されないわけではありません。

(※1)1ppm:百万分率のことでparts per millionの略
身近なところでタバコを1本吸った場合、ホルムアルデヒドの室内濃度が0.08ppmを超えることがあると言われています。

同梱の「ホルムアルデヒド吸着シート」はお客様のお手元に届くまでの期間を目安に入れておりますので、燃えるゴミとして処理してください。

③大型チャンバー法にて2003年3月より実測開始
無印良品では、実情に測した新たな測定方法〔大型チャンバー法〕(※3)を採用し、今後も家具のホルムアルデヒド低減に向けて努力を続けています。

実測データはホームページに掲載しております。

(※2)ホルムアルデヒド吸着・分解シート:アイシン精機(株)と共同開発

(※3)大型チャンバー法:家具を実際に製品の状態で測定用の部屋に入れ、放散されるホルムアルデヒドの濃度を測定する方法

②収納家具用ホルムアルデヒド吸着・分解シートのご使用をおすすめします。

タンスの引出し・食器棚など、密閉された空間のホルムアルデヒドや他のアルデヒド系の化学物質の悪臭を吸着・分解します。ホルムアルデヒドは長期間にわたり、少しずつ放散され続けますので、継続してのご使用をおすすめします。

収納家具用ホルムアルデヒド
吸着・分解シート

5182398 4枚入り ¥400

- 多孔質の天然鉱石と紙パルプをベースに吸着・分解効果のあるアミノ酸を配合しています。
- 不織布上部に穴があいているので、引出しなどにそのまま置いて使用するだけでなく、ひもやフックで吊り下げて使用することが出来ます。
- 樟脳(しょうのう)を使用した防虫剤との併用が出来ます。
- 使用環境にもよりますが、使用開始後3ヶ月が使用期間の目安です。